

令和5年度 鶴見区運営方針（案）

資料5

（ 区長：内田 忠憲 ）

「目標」「使命」及び「所属運営の基本的な考え方」	
目標	つながり、ふれあい、みまもり、支えあう、誰一人取り残さない、安心して暮らせるまち
使命	一人ひとりの人権が尊重され、だれもが自分らしく安心して暮らすことができるやさしさとぬくもりのある地域社会の実現に向けて、区内の実情や特性に即した施策・事業を総合的に展開する。
令和5年度所属運営の基本的な考え方	<p>鶴見区に暮らすだれもが互いに尊重しあい、地域に愛着を持って、ともに暮らし、ともに支えあうコミュニティを形成し、次世代をすこやかにたくましく育て、生涯を通じて心豊かにすごすことのできる地域社会づくりを進めます。</p> <p>また、こうしたコミュニティの力を生かしながら、子育てから介護まで、一人ひとりが夢と希望を持っていきいきと暮らせる福祉サービス・子育て教育環境の充実や健康づくりの促進、防犯の取組みや災害に強く、環境を守り自然と共生したまちづくりを進め、それらを支える広報・広聴を充実させたくましく暮らすまちとなるよう、鶴見区将来ビジョンに掲げる下記5つの柱に基づく各種施策に、重点的に取り組めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「柱1」つながる・支え合う ・「柱2」備える ・「柱3」育てる・まなぶ ・「柱4」聴く・伝える ・「柱5」共に生きる

重点的に取り組む経営課題						
経営課題1 だれもが地域で安心して暮らせるまちづくり						
	3決算額	4 6 百万円	4 予算額	4 7 百万円	5 予算額	4 6 百万円
課題認識	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉ネットワークが効果的に機能し、高齢者や障がい者の相談支援体制が整備され、地域や地域包括支援センター、障がい者基幹相談支援センターなどの関係機関との連携が緊密に図られることなどにより、地域包括ケアシステムの構築にもつなげていく必要がある。 ・健康に関心を持つ区民を増やし、正しい「食生活」、適度な「運動」について継続して取り組んでもらうための働きかけ、機会を提供し、健康増進意識の向上が必要がある。 ・より効果的な支援の実施に向けて必要な見直しを行い、全地域一律ではなく、地域の実情に即した最適な支援を行うこと。また、活動の担い手となる第一層の支援を行う必要がある。 					
主な戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・人と人とのつながりにおいて、お互いが配慮し存在を認め合い、支え合うことで、地域で孤立せずその人らしい生活を送ることができるような、「気にかける・つながる・支え合う地域づくり」を進めます。 ・支援を必要とするすべての人に必要な支援が行き届く地域社会の実現に向けて、生活の場である地域を基盤として、「だれでも・いつでも・なんでも言える相談支援体制づくり」をめざします。 					
アウトカム指標 <small>（経営課題の進捗度を示した指標）</small>	<p>区民アンケートで「日常生活の中で『お元気ですか』や『何かお困りですか?』など住民同士の『声かけ』『見守り』『支え合い』が行われていると感じる」と回答した区民の割合を令和9年度末までに60%以上にする。</p> <p>「地活協の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組みが自律的に進められている状態にあると思う」と評価した各地域活動協議会運営委員の割合を令和5年度末までに90%以上にする。</p> <p>区民アンケートで「運動や食生活など、健康に関する取組みを行っている」と回答した区民の割合を令和9年度末までに80%以上にする。</p>					
アウトカム指標の達成状況 <small>（定量評価）</small>	5年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成			前年度実績		

経営課題2 安全なまちづくり

		3決算額	1 4 百万円	4予算額	1 8 百万円	5予算額	1 8 百万円
課題認識	<ul style="list-style-type: none"> ・自身（家族）が助かるための自助の重要性の周知とともに、近所や地域の方々における救出・救助、初期消火、避難誘導、避難所開設などが自発的に行え、個別避難計画の活用などにより災害時に円滑に助け合い（共助）ができるように、日常的な地域でのつながりづくりについて備える共助の視点を盛り込んだ防災意識の向上が必要である。 ・街頭犯罪の約7割を占める「自転車盗」をはじめとした、街頭犯罪を未然に防ぐための取組みを推進し、街頭犯罪発生件数の減少を図っていく必要がある。 						
主な戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・今後想定される大規模な自然災害に対する備えとして、区民の防災意識の向上と、地域防災力の強化に向けた支援、区災害対策本部の機能強化に努めます。 ・鶴見区を安全なまちにするため、地域、関係機関、事業所等と連携し街頭犯罪の抑止に取り組みます。また、交通事故の減少や自転車マナーの向上をめざし、啓発活動に取り組みます。 						
アウトカム指標 (経営課題の進捗度 合を示した指標)	<p>区民アンケートで「鶴見区で実施している取組み（区民の防災意識の向上や地域防災力の強化に向けた支援など）が、今後の災害に対する備えにつながっていると感じる」と回答した区民の割合を令和9年度末までに75%以上にする。</p> <p>区民アンケートで「安全で住みやすいまちと感じている」と回答した区民の割合を令和9年度末までに90%以上にする。</p>						
アウトカム 指標の達成状況 (定量評価)	5年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成				前年度実績		

経営課題3 子育てやまなびを応援するまちづくり

		3決算額	2 6 百万円	4予算額	4 6 百万円	5予算額	4 6 百万円
課題認識	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに関する不安感、負担感の解消に向け、つながりづくりや気軽に相談できる窓口の周知を行うとともに、児童虐待防止啓発活動を推進し、また要保護児童等の早期発見・早期支援に努め、配慮が必要な子どもたちなどに寄りそった取組みを進めていく必要がある。 ・区民一人ひとりが自ら主体的に生涯学習に取り組み、まなびを通して地域とつながり、学んだ成果を地域に還元していただけるよう区民や団体に対して周知、支援することで、まなびを通じた豊かな教育コミュニティづくりをすすめていく必要がある。 ・区民一人ひとりが人権を身近にとらえ、お互いを思いやり、支え合うことの大切さを共有できるような人権教育の機会の提供や周知を行うことにより、人権啓発をすすめる必要がある。 ・ニア・イズ・ベターの観点から、学校・地域・保護者のニーズや意向を的確に把握したうえで、区役所の役割に応じた効果的な取組みを進めていく必要がある。 						
主な戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の関係機関や関係団体と連携し、保護者やこどもが交流・情報交換できる場の設定や相談支援の充実、子育て等に関する情報発信の強化、また児童虐待防止に向け関係機関と連携を図り、支援や相談対応などを行います。さらに、こどもの居場所の確保や学習支援など、安心して子育てできる環境づくりを進めます。 ・幅広い層に「まなびの場」を知ってもらうとともに、「まなび」を通じたつながりづくりを進めます。 ・区役所が学校や地域、保護者のニーズや意向を把握し、効果的な学校支援を進めます。 						
アウトカム 指標 (経営課題の進捗度 合を示した指標)	区民アンケートで「鶴見区は子育てしやすいまちだと感じている」と回答した子育て世帯の区民の割合を令和9年度末までに90%以上にする。						
	区民アンケートで「まなびを通してつながりを感じている」と回答した区民の割合を令和9年度末までに75%以上にする。						
	区民アンケートで「人権尊重のまちづくりが進んでいる」と回答した区民の割合を令和9年度末までに50%以上にする。						
	「学校や保護者のニーズ、意向が教育行政に反映されていると思う」と回答した校長・教頭の割合を令和9年度末までに90%以上にする。						
アウトカム 指標の達成状況 (定量評価)	5年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成				前年度実績		

経営課題4 まちづくりを支える広報・広聴の充実

		3決算額	20百万円	4予算額	23百万円	5予算額	26百万円
課題認識	<ul style="list-style-type: none"> 区民が必要とする情報を広く等しく提供するため、広報紙をはじめ、ホームページやSNSなど、年齢層に応じた広報媒体を活用し、効果的な情報発信を行う必要がある。 市民の日常生活と施策・事業運営との間のギャップを明らかにするため、広聴を通じて課題の把握に努め、改善に繋げていく必要がある。 						
主な戦略	あらゆる世代に必要な情報をわかりやすく提供できるよう情報発信をおこなうとともに、区政会議等により多様な区民ニーズの把握に努めます。						
アウトカム指標 (経営課題の進捗度 合を示した指標)	区民アンケートで「鶴見区が実施する広報（区広報紙、区ホームページ、SNS、区広報板など）で、必要とする区政情報が必要なときに入手できている」と回答した区民の割合を令和9年度末までに75%以上にする。						
アウトカム 指標の達成状況 (定量評価)	5年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成			前年度実績			

経営課題5 環境にやさしいまちづくり

		3決算額	1百万円	4予算額	2百万円	5予算額	3百万円
課題認識	誰もが将来に対して安心して暮らせる持続可能社会の実現のためには、SDGsに掲げられている17の目標の達成が重要であることから、区民へのSDGsに係る興味・関心を高めていく必要がある。						
主な戦略	2030年までを目途とする持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けて、SDGsの区民への浸透を図るなど、SDGsにかかる取組みを進めていきます。						
アウトカム指標 (経営課題の進捗度 合を示した指標)	区民アンケートで「日頃から意識してSDGsに取り組んでいる」と回答した区民の割合を令和9年度末までに80%以上にする。						
アウトカム 指標の達成状況 (定量評価)	5年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成			前年度実績			

自己評価 (運営方針全体の 定性評価)	
---------------------------	--

今後の方針	
-------	--